



平成 21 年度人間総合科学研究科

最先端医学研究セミナー（第 1 回）

第 287 回つくば分子生命科学セミナー

演題：磁気ビーズ法を用いた様々なタンパク質分離精製技術
～免疫沈降、クロマチン免疫沈降、血清プロファイリングなど～

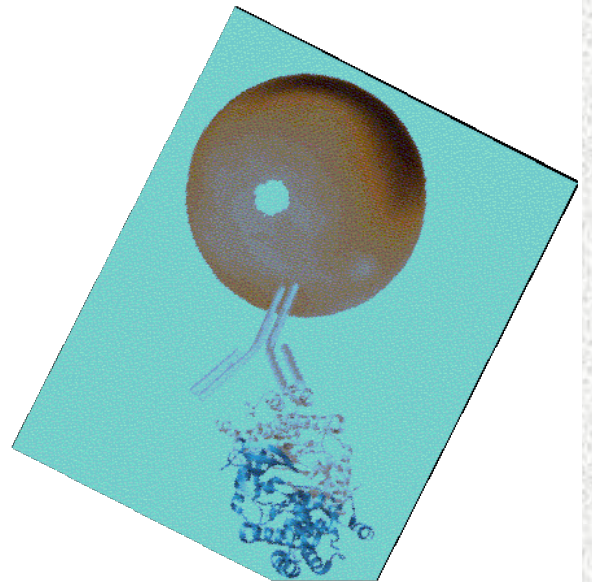
演者：谷口 貴信 先生（株式会社ベリタス 技術営業部）
Ketil Winther Pedersen 先生（Invitrogen Dynal 社）

日時：2009 年 4 月 21 日（火） 17:00～18:00

会場：共同利用棟 B 2 階講義室 2 （*昨年度と違うので注意）

内容：

磁気ビーズを用いた各種分離精製実験は以前から研究者の間で広く活用されており、確立された技術となっておりました。昨今、タンパク質の解析が盛んに行われるようになってからは、高純度のターゲットタンパク質を再現性よく得られる精製方法としてさらに注目を集めてきております。特に免疫沈降法やクロマチン免疫沈降法での磁気ビーズの使用は、従来のセファロース/アガローススラリーを使用した方法では得られないデータを提供することが可能であり、タンパク質解析の必須アイテムとなっております。また、磁気ビーズの技術はビーズ表面の性質を変えることで様々なアプリケーションに使用可能で、応用範囲が広がってきております。本セミナーでは、磁気ビーズ法の基礎技術から最新の応用例までを紹介いたします。



「本セミナーは最先端医学研究セミナーの単位に換算されます。」

連絡先：疾患制御医学専攻 大根田修（内 2938）、生命システム医学専攻 熊谷 嘉人（内 3133）

問い合わせ先：小林麻己人（makobayash@md.tsukuba.ac.jp）

共催：筑波分子医学協会（協会長 大根田修）HP <http://www.md.tsukuba.ac.jp/public/tsmm/>

TSMC セミナー担当 筑波大学基礎医学系 濱田理人